



撮影／前島吉裕

(番組)

狂言 止動方角

(大藏流)

シテ 山本 東次郎  
アド 山本 泰太郎  
アド 山本 則俊  
アド 山本 凜太郎

能 景清

(観世流)

松門之会釈

(休憩二十分)

シテ 梅若 玄祥  
ワキ 野口 敦弘  
笛 一噌 庸二  
小鼓 鷓澤 洋太郎  
大鼓 國川 純

● 止動方角 (しどうほうかく)

お茶くらべがあるというので、主人は太郎冠者を呼び出し、伯父の所へ行つて最良の茶と太刀と馬を借りて来いと命じます。伯父は快く貸してくれますが、その馬には咳払いをすると暴れだす癖があるので、それを鎮める呪文を教えてくれます。

太郎冠者の帰りを待ちかねて途中まで出迎えた主人は、労をねぎらうどころか遅いと言つてさんざん叱りつけます。腹を立てた太郎冠者は主人の乗った馬の後ろから咳払いをして、馬を暴れさせてしまします…。

ぬいぐるみ姿で四つ這いになる馬の役も登場する楽しい狂言です。

● 景清 (かげきよ)

平家の勇将悪七兵衛景清は、源平の戦いの後源氏方に捕えられ、盲目の琵琶法師となり日向国・宮崎に流されて乞食同然の身となっています。噂を聞いた娘・人丸が鎌倉から尋ねてきますが、景清はわが子の行く末を思い、わざと他人のように応対します。しかし里人のとりなしで親子は対面し、心を通わせあうことができました。そこで娘の頼みに応じて、屋島の合戦での武勇伝を語り聞かせるのでした…。

別れた娘との再会と、再び別れなくてはいけない悲劇を描いた骨格の大きな能で、屋島の合戦で名を馳せた「鍛引き」の語りなど聞きどころ、見どころの多い名曲です。

今回は「松門之会釈」の小書きつきで上演します。

新 会 員 募 集 中

都 民 劇 場

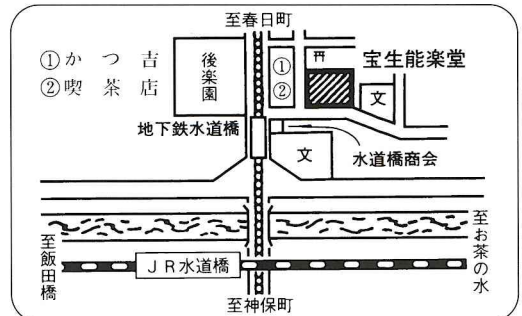
優れた演劇・歌舞伎・音楽をお得な料金で鑑賞します

■案内書(無料)は電話でご請求ください

03 (3289) 4621

●電話受付時間 平日10時~18時(土日祝=休)

<http://www.tomin-gekijo.or.jp>



【宝生能楽堂への交通】

JR(東口)又は 都営地下鉄(A1出口) 水道橋下車  
〒113-0033 文京区本郷1-5-9 03-3811-4843

お問い合わせ〇公益財団法人 都民劇場 03-3572-4311

〇都民劇場／東京都中央区銀座5-1-7数寄屋橋ビル6F